

日本鐵鋼協會記事

昭和25年度第15回理事會並昭和25年度第1回評議員會及第1回 服部, 野田, 日鋼, 今泉各委員會報告.

日 時: 26~2~21 (水) 15時~19時30分 場 所 協會々議室

出席者: (會長) 田中清治, (副會長) 富山英太郎, (理事) 芥川武, (前會長) 吉川晴十, (常務委員) 菊池浩介, 俵信次, 森龍郎代阿部信男, (主事) 金谷三松, (評議員) 梅津七藏君, 鹽澤正一君, 西山彌太郎君代清水政治君, 廣瀬政次君, 町永三郎君代福島修吾君, 室井嘉治馬君.

以上の外委任出席者 68 名. 備考, 要出席者總員數 役員 17 名, 評議員 98 名, 合計 115 名.

協議事項 I 今期改選を要する役員候補者推薦 (下記の通り決定)

(1) 理事を退任の方 芥川武君, 繪野澤喜之助君, 佐々木吉備三郎君, 松永陽之助君.

理事に新任の方 石原善雄君, 内川悟君, 佐藤忠雄君, 田畑新太郎君.

(2) 監事交代 (退任) 笹部誠君, (新任) 志村清次郎君.

(3) 常務委員 (退任) 佐々川清君, (新任) 伊木常世君.

(4) 評議員 50 名改選 伊藤正夫君, 石田四郎君, 上野健二郎君, 梅津七藏君, 繪野澤喜之助君, 大谷米太郎君, 岡村武君, 嘉村平八君, 香春三樹次君, 桂辨三君, 川村吟次郎君, 川端駿吾, 幸田成康君, 菊池浩介君, 絹川武良司君, 葛誠四郎君, 桑田賢二君, 小林佐三郎君, 小平勇君, 佐藤知雄君, 齋藤彌平君, 里村伸二君, 澤村宏君, 須永己代次君, 角野尚徳君, 瀧澤工君, 永島菊三郎君, 永野重雄君, 西村秀雄君, 錦織清治君, 花岡元吉君, 蜂谷茂雄君, 平岡富治君, 廣田壽一君, 廣瀬政次君, 藤井寛君, 本多光太郎君, 増本量君, 町永三郎君, 的場幸雄君, 三鬼隆君, 宮下格之助君, 村田巖君, 室井嘉治馬君, 望月要君, 森山達郎君, 柳武君, 山田良之助君, 湯川正夫君, 和田龜吉君.

(御参考) 今期留任の方 新谷哲次君, 網谷俊平君, 有光次郎君, 井村荒喜君, 伊丹榮一郎君, 伊藤隆吉君, 池田正二君, 生悦佳貞太郎君, 石原寅次郎君, 石原米太郎君, 岩瀬慶三君, 大塚誠之君, 大原久之君, 賀田秀一君, 加藤徳衛君, 金森九郎君, 河田重君, 木村幸次郎君, 久保田豊君, 栗本順三君, 黒田泰造君, 越達三君, 佐野幸吉君, 酒井佐敏君, 笹部誠君, 寒川恒一郎君, 鹽澤正一君, 園田一夫君, 田中國雄君, 田中徳松君, 武田修三君, 立山重紀君, 谷口光平君, 谷村燕君, 豊田喜一郎君, 中山育雄君, 西山彌太郎君, 萩原巖君, 原繁造君, 原田猪八郎君, 中世將一君, 藤川一秋君, 藤村哲之君, 松永陽之助君, 宮代彰君, 村上武次郎君, 毛利惣之君, 矢野範二君, 藪内周三郎君, 横山均次君.

II 第36回通常總會に於ける表彰者 (原案通り決定)

(服部賞牌) 浅村峻三君(八幡) 製鐵用機械設備の整備改善に關する功績.

(服部賞金) 大貫富藏君(釜石) 鹽基性平爐操業法改善に關する功績.

(服部賞金) 細川角平君(川崎製鐵) 薄板製造設備の改善並に生産増強に關する功績.

(香村賞牌) 田中國雄君(日鋼鶴見) 高爐建設並に戦後鐵鋼生産復興に關する功績.

香村賞金(第9條適用) 城 博君(八幡) 本邦炭を以て高爐用コークス製造研究の功績.

香村賞金() 鈴木和郎君(新扶桑製鋼) 製鋼用耐火物その他の研究に關する功績.

俵 賞(學術上優等論文) 齋藤泰一君(新扶桑) 3月號「鐵鋼の材質に及ぼす酸素の影響」.

(技術上優等論文) 高島徳三郎君(日鋼) 3月號「鋼の鍛造壓延絞り引拔材等に顯れる 屈曲内面疵又は皺疵の正體とその發生條件について」.

(渡邊賞牌) 館野萬吉君(室蘭) 高級鋼の熔解並に造塊に關する技術改善の功績.

(渡邊賞金) 荒木透君(大阪特殊製鋼) 特殊鋼の製造に關する理論と實際との連繫發展の功績.

(渡邊賞金) 澤繁樹君(日特) 鋼中ガス分析法の改良の功績.

I 定款中改正を要するもの (原案通り承認)

(1) 第8條 贊助會員の寄附金一時5,000圓以上を一時に正會員會費10年分とする件。

改正條文 贊助會員は個人にして本會の目的を賛成し一時に正會員會費10ヶ年分を寄附するものとす。

(2) 第34條の入會費を正會員80圓を100圓に學生會員30圓を50圓とする件。

改正條文 入會金は正會員に於ては金100圓學生會員に於ては50圓とす。

(3) 第35條の會費を正會員年金500圓を600圓に學生會員の200圓を400圓とする件。

改正條文 正會員の會費は1ヶ年600圓、學生會員の會費は1ヶ年400圓とす。

IV 日本特殊鋼株式會社寄贈資金取扱規則第1條第1項第1號及香村博士記念資金取扱規則第1條第1號中職夫又は工務員とあるを工員と改正の件。(承認)

V 當分の間各資金取扱規則規定の諸費用は一般會計へ支出し所要の經費は一般會計より之を支辨し得るものとする件。(承認)

VI 昭和25年度收支決算審議(各記念資金を含む)(承認)

VII 昭和26年度收支豫算編成() (一部訂正の上承認)

(御參考) 會費値上げの理由、只今の62~64頁の會誌では皆さんの投稿論文が捌き切れませんので68~70頁程度に増頁するために必要な増額です。

(52頁より續く)

As, Zn等は有害でない%を限度とし僅小な程可である。ドライ粉及1mm以下のものは使用しないことを原則とし使用する場合には條件を附すること、大きに關しては大體金屬規格通り。(4) 其の他新理研工業及日本特殊鋼から提出された資料により新理研に於て原案を作り次回に之れを検討することとした。

鐵鋼第2次製品部會第9回磨帶鋼分科會

1. 日時: 昭和25年12月14日(木)。2. 場所: 三機工業株式會社川崎工場。3. 出席者: 山下主査委員外委員及委員代理等35名。4. 提出資料: (1) 肌不良の種類(新理研工業王子)。(2) 酸洗用制ガス防蝕劑ヘンメルZに就いて(三機工業川崎)。(3) 壓延減磨油に就いて(新理研工業王子)。(4) 硬度に關する調査(高砂鐵工志村工場)。5. 議事概要。(1) 五弓委員は壓延理論について、壓縮變形一円錐狀滑り論、フロー抵抗、円柱の全壓縮力、變形抵抗、横方向流抵抗等、壓延の際の力及仕事量一最大主變形量、接觸面積、全壓下力、ポンプの冷間壓延實驗、變形效率、熱間壓延、アルファ・ガンマ變態點での變形抵抗の變化、加工速度の影響を説明した。(2) 壓延工程に於ける肌不良の研究に關して新理研工業より資料(1)について説明があり。(3) インヒビターに關しては三機工業より資料(2)によつて説明が行はれた。(4) 壓延減磨劑に關して新理研工業王子より資料(3)について説明せられ。(5) 硬度に關する研究については高砂鐵工志村工場より資料(4)によつて説明がなされた。